



那珂川市議会 会派

人とひとが変わるその先に!!

2023  
6

みらいえ nakagawa

その先の未来へ

「みらいえ」は、一つ一つ色の違いを認め合う集団色（考え方）の違いを認め合いながら、その先の未来を目指す。「みらいえ」は、色が交わり交差した時に一番良い色を探す色（考え方）は、交わり、交差することで全く異なる色となる。その異なった色の中から市民にとって一番良い色を見つけ合う。「みらいえ」は、皆さまの未来に責任を持つ那珂川市の未来を見つめ、赤ちゃんからご高齢の方まで笑顔で暮らせる提言を行い、未来にわたって誇れる那珂川市の未来絵を描く。



津留 渉

松尾 正貴

真鍋 昭洋

## ウクライナと那珂川市の架け橋

寄稿者  
松尾 正貴

早いもので、もう数か月の日々が経とうとしている。

令和5年2月22日にウクライナから陸路空路を使い36時間かけて福岡空港に降り立った、キーウ市東洋語学校の教師1名と生徒8名。

ウクライナの国旗を纏い長旅の疲れの中、これからの1か月を夢見て緊張の中にも笑顔が垣間見られた。

実は、このウクライナの子どもたちの受け入れは、別所区で事業を営む、結城辰輝氏のもとに届いた一通のメールから広がった支援の輪のプロジェクトである。

空襲警報が鳴り響く日常、ミサイルが着弾する現実からしばしの間でも平和な日常の中で子ども達を過ごさせてあげたいとの切なる願いのもとに有志が集まり、「ウクライナ支援笑顔プロジェクト」が発足した。

個人や企業への支援の輪を広げ、集団生活の場として愛しとーと研修施設の提供、教育や同世代の子ども達と触れあえる環境をと安德南小学校への受け入れ、日本の文化に触れあえるようにとホストファミリー宅でのホームステイなど、手探りの中に充実した笑顔にあふれた日々の連続。

約1カ月の短期間ではあったが、安德南小学校を去る日には、校門にあふれんばかりの見送りの生徒が詰めかけ、別れを惜しむ一幕も。

ウクライナの子ども達だけでなく、安德南小学校の子ども達や多くの市民の笑顔を生み出してくれた「ウクライナ支援笑顔プロジェクト」。

発足メンバーの一人として、ご支援、ご協力頂きました全ての皆さまに、代表してお礼を申し上げます。

Хайнастане мир в Україні. ウクライナに平和が訪れますように

プロジェクトメンバー：結城辰輝・結城江充子・小林俊志・松尾正貴・(株)愛しとーと



## 那珂川市議会 会派みらいえ 市政報告会のご案内

一昨年の令和3年3月28日、那珂川市議会議員選挙におきまして、私達は其々にご支援いただいた皆さま方からのご負託を賜り、議場に送り出させていただきました。

この2年間、皆さまのご期待に応えるべく、精一杯の活動を行なってきましたが、度重なるコロナウイルス感染症の影響を受け、ご報告の機会を逸したことを深くお詫び申し上げます。

さてこの度、令和5年5月8日よりコロナウイルス感染症が2類から5類に移行されたことを受け、大変遅くはなりましたが下記の日程にて市政報告会を開催する運びとなりました。

ご多忙の折、誠に恐縮ではございますが、皆さまのご来場を心よりお待ちしております。

まなべ昭洋 市政報告会 7月2日(日) 10:00～10:50 南地区公民館

松尾まさたか 市政報告会 7月9日(日) 10:00～10:50 ミリカローデン那珂川1F 和室

つる 渉 市政報告会 7月9日(日) 11:00～11:50 ミリカローデン那珂川1F 和室

# 代表質問

3月定例会

施政方針をズバリ問う!

発言者  
真鍋 昭洋



**質問** 子どもたちが公園に行くのに不便な地域は多々ある。公園が一つもない南畑地区を含め、子育て世代を呼び込むために、都市公園の再整備が必要と考えるが。

**市長** 優先順位を考えながら対応していく。

**質問** 今年1月に東京都、福岡市が相次いで第2子以降の保育料完全無償化を発表したが、その考えはあるか。難しいならば、せめて減免を考慮すべきと考えるが。

**市長** 現在のところその考えはない。今後は国の動向に注視し判断する。

**質問** 自治体PPSのように、エネルギー地産地消が根付く昨今、他自治体では行政主導や自治体と民間の共同出資にて取り組む動きがみられるが、その考えは。

**市長** 現時点でその考えはないが先進的な取り組みなどを参考にしながら、慎重に検討していく。

**質問** 消防団では新入団員、女性消防団員の早期退団が目立つ。また、団員報酬や費用弁償が個人口座へ振込となり分団で運営費を捻出できない事が懸念される。これらについてどう考えるのか。

**市長** 現段階で補助金の増額は考えていない。また、消防団員の確保については、聞き取りなどを行ない検討していく。

# 賛成討論

議案第27号  
グリーンピアなかがわの設置及び管理に関する条例の廃止

発言者  
真鍋 昭洋



本議案は昭和61年7月にオープンし、往時にはリフトやスカイダー、キャンプ施設等で人気を博していた、グリーンピアなかがわを閉園する議案であり、約37年の歴史に幕を下ろすものであるが、市内外から訪れた多くのリピーターの皆さまや南畑地域に関わっていた方々同様に、私自身も子どもを遊びに連れて行って行ったことあるので当然思い入れのある施設であり、閉園に諸手を上げて賛成とは言い切れない部分はある。

しかし、コロナ禍以前の直近5年間の収支合計が9,350万円余、年平均で1,870万円余の赤字であり、今後10年間の収支予測で、市が運営を継続した場合では令和5年から14年までの10年間で約2億5千万円の赤字が見込まれ、約25haある広大な敷地の管理に係る人件費や、老朽化した既存施設の改修、維持管理などの経費を鑑みると、市民の皆さまから頂いている税金をこれまで以上に投入し、存続させることに果たしてご理解を賜れるのか疑問が残る。

令和4年8月からの3か月間、プロポーザル方式及び入札方式で活用事業者の公募が行なわれたが、提案等が重視される訳ではない入札方式でさえも応募業者がなかったということは、ビジネスとして成り立たない事業であると考え。このまま10年後まで運営を続け2億円以上をつぎ込み、赤字経営を続けるよりその2億円で市民の皆さまのために何ができるのか。子育てや教育、高齢者支援など、生きた財源として利用すべきと考える。

今後策定される、五ヶ山クロスを中心とした水源地域振興計画で、歴史ある皆さまに愛されたグリーンピアなかがわの良き所は継承し、包括的に中ノ島公園を含めた水源地域が、より魅力ある観光エリアとして交流人口増に資することを期待する。



# みらいへの提言

令和5年度施政方針

「みらいえ」が提言を行い、令和5年度施政方針および令和5年度予算に反映された事案

## つる 渉

■令和3年9月定例会「読書推進のまちづくりについて」

⇒ ◎令和6年度より移動図書館車両が導入・運行されます。「少し手を伸ばせば本がある」図書館がより身近になります。

■令和4年12月定例会「移動図書館について」

## まなべ 昭洋

■令和4年3月定例会「2050年カーボンニュートラルに向けたクリーンエネルギーの具体的導入について」

⇒ ◎市民の皆さまが利用できる電気自動車充電スポットが設置されます。

■令和4年12月定例会「市内小学校図書館の図書購入について」

⇒ ○学校図書整備事業費が引き上げられます。辞典や辞書が整備され、増刷等の学校図書充実が図られます。

那珂川市の未来を見つめるご提案、ご要望、ご相談などがございましたら、お気軽にご連絡ください。一緒にあなたの思いを描く那珂川市の未来絵を描かせてください。



那珂川市議会 会派

【ご意見・ご要望・お問い合わせ】

TEL:951-2500 FAX:951-2501

E-mail:miraie@sasuga.co.uk

まつお 松尾 まさたか 090-5928-4522  
わたる づる 渉 090-3662-3715  
あきひろ まなべ 昭洋 090-6425-7649